



～ 多様な個性・価値観・ライフスタイルを尊重しあい、
無意識の思い込みやハラスメントに気づき、誰もが健やかに成長や挑戦ができるキャンパスに ～

Beside you 通信 第59号

●お知らせ -学生スタッフ募集しています-

ダイバーシティキャンパス推進室では、この通信上部に記載の方針のもと、過ごしやすい鳥大の風土づくりに取り組む学生スタッフを募集しています。活動は月1回定例ミーティング+活動内容に応じて、話し合いて決めていきます。申込など裏面の問合せ先までご連絡ください。

～これまでの活動の例 

○「イスラム教を知ろう」セミナーの企画・運営・実施

○「生理」の問題を考え、生理用品配置の実証実験を経て各キャンパスのトイレへの配置を実現。
右の写真は米子キャンパスの配置トイレ。学生生活委員会の活動のもとに配置されています。



この号の内容

◆お知らせ

学生スタッフ募集しています

◆活動状況

教職員アンケート

◆ご案内 鳥取から“世界”を掴む

◆お役立ち情報

LGBTQ+ 教職員セミナー配信中

◆キャンパスメンバーに聞く

～男性育休を取得して～

岩見・富永ご夫妻にインタビュー

●活動状況 - ダイバーシティ環境推進 教職員アンケート -

鳥取大学のダイバーシティ環境を推進するため、9月2日～25日に全教職員対象にアンケート調査を行いました。回答率は職種により約10%～75%の開きがあり、全体の速報値は以下のとおりです。今後、結果の分析を進め、本学の課題に対する取り組みにつなげていきたいと思えます。

 対象者 3,201人  回答数 955件
 有効回答率29.8% (男性32.7% 女性27.8%)

ご協力ありがとうございました。



●ご案内 - タカサカモト氏 鳥取から“世界”を掴む セミナー -

世界で活躍するプロサッカー選手の異文化適応などを指導、作家でもある講師は鳥大附属小中学校卒業生。人生に迷った東大時代に世界を放浪しながら、幸せのカタチを見つけていく様子を生き方のヒントに。 ■日時 12月26日(木) 9:30～11:00

■対象 全教職員・学生 ■場所 附属中学校多目的会議室 ※附属学校園教職員以外はオンライン。URLは期日が近づいてからお知らせがあります。(主催/鳥大附属学校部)

★お役立ち情報 LGBTQ+について - 11/20まで教職員対象セミナー -

LGBTQ+ (セクシャルマイノリティ) について、教職員対象のセミナーを学内eラーニングシステムmanabaで11月20日まで配信中です。学生や同僚、家族などとの関わりで日ごろ気をつけたいことや表現、LGBTQ+に関する基礎知識やカミングアウトへの対応など、専門家によるわかりやすい解説となっています。アメリカの医療機関での取り組みインタビューも紹介しています。ぜひご覧ください。



★キャンパスメンバーに聞く ～男性育休を取得して～

岩見 勇希さん（総務企画部 総務企画課） 富永 里歩さん（研究推進部 研究推進課）

ご夫妻で育児休業を取得したお2人に、男性育休についてインタビューしました。この秋1歳半になる双子の育児・家事・仕事にフル稼働しながら勤務中です。

Q1 育休期間とその後の勤務形態

（夫）1カ月の育休後、フルタイム勤務 （妻）11カ月の育休後、2時間の時短勤務

Q2 育休前の職場の反応、相談先、準備

いずれの所属も、**育休は取るのが当然の雰囲気**で、快く後押ししてくださいました。取得期間は制度に詳しい人事課の先輩に相談。夫婦で相談して夫は経済的な面、妻は4月復帰のタイミングを重視して期間を決めました。それぞれ上司に相談し、不在時に支障がないよう引継書を作成しました。

Q3 育休中の生活とその後 経験して感じたこと

（夫）体調の回復を待つ妻のケアと、24時間数時間おきに双子のミルクとおむつ交換、抱っこくり返りで、あっという間でした。その後も続く育児の大変さを経験し、**もっと長く、少なくとも半年～1年は育休を取れたらよかった**と思いました。

（妻）体調が不安定で県外の実家への移動が難しく、産後は夫の実家で過ごしました。体調がすぐれない中、慣れない育児、生活様式、人間関係に**心身の疲労が蓄積**し、夫へあたることもありました。いま振り返ると、大変なこと苦しいことはたくさんありましたが、双子なので楽しさ喜びも2倍以上。双子の日々の成長をわくわくして見守ることが、体調の回復につながっています。

Q4 復職後、仕事の変化

より効率的に、**先を見越して段取り**をつけたり、無駄をなくして早く帰宅することを意識し工夫しています。

Q5 制度面 2人とも、子の看護休暇は2カ月もしないうちに消化。その後は有給休暇をあて、妻は半年で20日以上、夫は年間で20日以上を育児で消化してしまいました。



Q6 育休を考えている人へ

（夫）**育休は必ず取りましょう！**取らないと一生後悔します。命がけの出産と産後を、母親は心身のダメージを負いながら過ごします。育休は、その日々をいたり、共に過ごすことで、より深い絆を築きながら、子どもの日々の成長を支えることができる時間でもあります。今後の未永いパートナー関係、豊かな家庭・人生を築くためのとても大切な期間です。

（妻）母親間で話題になるのは夫の**“育休後の定時帰宅”**です。時短を取るのはほぼ妻、緊急時の保育園の迎えも多きが妻。日々の育児、家事は積極的にお願いしたいものです。そのためには、“定時帰宅”いただきますようお願い申し上げます。

♪ たくさんのハードルと向き合いながら、インタビューの間、互いを笑顔で思いやられるお2人が印象的でした。共に働くメンバーとして、ライブイベントや日ごろの業務について風通しよく、フォローしあえる職場づくりをしたいですね。



お問い合わせ・ご相談などは、下記までお寄せください

〒680-8550

鳥取市湖山町南4丁目101

ダイバーシティキャンパス推進室（地域学部棟4階）

TEL: 0857-31-5769（内線2166）

Email: diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp

H P: <https://www.tottori-u.ac.jp/diversity/>



相談予約
申込フォーム



Tottori University Office for Campus Diversity

鳥取大学 ダイバーシティキャンパス推進室